学校施設候補地の考え方

１　用地等の条件

面積要件：３０，０００㎡以上

学校形態：小中一貫教育学校（小中一貫校又は義務教育学校）

施設形態：一体型又は併設型（小・中学校の職員室が一体、隣室が望ましい。）

そ の 他：職員室から校庭等の児童・生徒の状況が確認できることが望ましい。

２　敷地選定及び施設形態内容確認

区　分	想定業務及び想定費用	想定所要期間
新たな用地	①適地選定（面積 30,000 ㎡）	①　6 月
	②調査（鑑定調査等）	②　3 月
	③地権者確認（地権者同意、測量）	③　3 月
	④許可申請（農地等）	④　3 月
	⑤用地交渉（学校用地、調整池用地）	⑤ 12 月
	⑥購入　　学校用地・・・・・・・・・・・・・・・ 150,000 千円	⑥　6 月
	調整池用地・・・・・・・・・・・・・・ 11,500 千円	
	⑦設計（地質調査）	⑦ 15 月
	⑧開発許可（3,000 ㎡以上　許認可まで半年～）	⑧　6 月～
	⑨建築確認	⑨　6 月
	⑩敷地造成　学校用地 30,000 ㎡・・・・・・・・・432,675 千円	⑩ 12 月～
	調整池　　3,000 ㎡・・・・・・・・・234,631 千円	
	⑪周辺道路の整備、上下水道等の整備	⑪　？月
	⑫校舎建設（議会議決「予定価格 5,000 万円以上の工事」）	⑫ 24 月
	⑬備品購入（議会議決「予定価格 700 万円以上の購入」）	⑬　9 月
	⑥＋⑩＝　828,806 千円	計 105 月（8 年 9 月）
既存用地	①適地選定（⑧既存用地を 50 ㎝未満の盛土で活用した場合不必要）	①　6 月
	~~②調査（鑑定調査）~~	~~②　3 月~~
	~~③地権者確認（地権者同意、測量）~~	~~③　3 月~~
	~~④許可申請（農地等）~~	~~④　3 月~~
	~~⑤用地交渉（調整池用地）~~	~~⑤ 12 月~~
	~~⑥購入　　学校用地・・・・・・・・・・・・・・・ 150,000 千円~~	~~⑥　6 月~~
	~~調整池用地・・・・・・・・・・・・・・ 11,500 千円~~	
	⑦設計（地質調査）	⑦ 15 月
	~~⑧開発許可（3,000 ㎡以上　許認可まで半年～）~~	~~⑧　6 月～~~
	⑨建築確認	⑨　6 月
	⑩敷地造成~~学校用地 30,000 ㎡・・・・・・・・・432,675 千円~~	~~⑩ 12 月～~~
	~~調整池用地 3,000 ㎡・・・・・・・・・234,631 千円~~	
	⑪周辺道路の整備、~~上下水道等の整備~~	⑪　？月
	⑫校舎建設（議会議決「予定価格 5,000 万円以上の工事」）	⑫ 24 月
	⑬備品購入（議会議決「予定価格 700 万円以上の購入」）	⑬　9 月

	~~⑥＋⑩＝　828,806 千円~~	計 60 月(5 年)

上記表の想定期間及び費用の内容から、学校施設用地は、既存用地を活用し、小中一貫教育学校の設置を目指す。

《参考：内容比較条件》

・想定費用はあくまで判断を行うための参考となる数値（事例等）とする。

・用地購入費は農地を購入すると仮定

・調整池は既存調整池を参考に学校施設用地に係る面積として仮定